

議 長	副議長	局 長	次 長	係 長	係	合 議

このとおり作成しましたので報告します。

産 業 建 設 委 員 会

開 催 日：平成26年9月11日(木)

開催時間：9時57分～12時32分

開催場所：全 員 協 議 会 室

【委 員】 布施委員長、牛尾昭副委員長
串崎委員、飛野委員、笹田委員、西田委員、牛尾博美委員

【委員外】

【議 長】

【執行部】

(産業経済部) 中村産業経済部長、田村産業経済部次長(兼産業政策課長)、竹中産業振興課長、佐々本広島市場開拓室長、川神農林振興課長(併農委事務局長)、吉田水産振興課長、

石田漁港活性化室長、栗栖観光交流課長、倉井産業企画係長

(都市建設部) 下垣都市建設部長、河野都市建設部次長(兼建設企画課長)、吉田建設整備課長、宮下地籍調査室長、岡本維持管理課長、佐々木建築住宅課長、吉川災害復興室長、藤井庶務係長

(金城支所) 吉永金城支所長(兼金城支所建設課長)、芹原金城支所産業課長

(旭支所) 田村旭支所長、塚田旭支所建設課長(兼旭支所産業課長)

(弥栄支所) 田中弥栄支所長、岡本弥栄支所産業課長(兼弥栄支所建設課長)

(三隅支所) 横田三隅支所長、岡田三隅支所産業課長(兼三隅支所建設課長)

【事務局】 小川書記

議 題

- 1 陳情審査(浜田市ツーリズム協議会に対する理解と体制支援に関する陳情)
- 2 議案第67号 工事請負契約の締結について((仮称)旭統合小学校校舎建設に伴う建築主体工事)
- 3 議案第70号 市道路線の廃止について(小国25号線)
- 4 議案第71号 市道路線の認定について(浜田554号線外)
- 5 執行部報告事項
 - (1) 海上自衛隊の誘致に向けた要望活動について(安全安心推進課)
 - (2) 瀬戸ヶ島埋立地活用基本方針(素案)作成業務の委託予定事業者決定について(地域プロジェクト推進室長)
 - (3) 「浜田を元気にする創業塾」の開催について(産業政策課)

(4) ゆうひパーク浜田(株)の状況について (産業政策課)

(5) 漁業別水揚について (水産振興課)

(6) B B大鍋フェスティバル2014について (水産振興課)

(7) 第22回全国障がい者馬術大会について (金城支所産業課長)

(8) 平成25年8月豪雨災害復旧事業の進捗状況について (災害復興室)

(9) その他

① 「公会計改革フォーラム i n 浜田」の開催について (都市建設部)

6 所管事務調査

(1) 萩・石見空港利用促進の支援策について (産業政策課)

7 その他

【議事の経過】

[9 時 57 分 開議]

布施委員長

ただいま出席委員は7名で定足数に達しておりますので、ただちに本日の委員会を開催します。まず、本日は議題1の陳情審査のため陳情者である浜田市ツーリズム協会から参考人として会長の小川泰昭さんと事務局長の河野文影さんにお越しいただいているのでご紹介します。参考人席をこちらに設けています。後ほど陳情の説明等をお願いします。本日はご苦労さまでした。

次に9月10日付で本委員会所管の部課で人事異動がありました。岩谷氏が自治区長に就任されたことに伴い、旭支所長に田村旭支所産業課長が昇任され、旭支所産業課長は塚田旭支所建設課長が兼務されることとなりました。お二人とも本委員会への出席はされていましたが、職が変わったため一言ずつごあいさつをお願いします。

田村支所長

昨日付けで旭支所長という大役を仰せつかりました。これまでとは席が一つ前へ変わったのですが非常にプレッシャーを感じています。どうぞよろしくをお願いします。

塚田課長

産業関係は右も左も分からないが、産業発展に尽くすのでよろしくをお願いします。

布施委員長

頑張ってください。では順次審査を行います。

1. 陳情審査（浜田市ツーリズム協議会に対する理解と体制支援に関する陳情）

小川会長

議題1について、先ほど申したように浜田市ツーリズム協会から小川会長と河野事務局長に来ていただいているので、まず協会についての理解と体制支援に関する陳情についてご説明をいただき、その後質疑に入ります。では説明をお願いします。

布施委員長

（以下、資料をもとに説明）

続いて河野事務局長。

河野事務局長

（以下、資料をもとに説明）

布施委員長

参考人2人の説明が終わりました。委員から質疑はありますか。牛尾昭副委員長。

牛尾昭副委員長

河野さんに伺いたい。浜田市観光協会が一般社団法人化し、事業としてニューツーリズム促進事業ということでツーリズムインストラクターの養成、農村ワーキングホリデー等、交流人口拡大を目指すような事業をやっているはずですが、ツーリズム協議会と観光協会との連携はどうなっているのでしょうか。

河野事務局長

最近の観光動向は物見遊山から体験型に変わりつつあります。その中で、私たちが個々の実践者の皆さん方、浜田市ツーリズム協議会に登録された50名近い方々の様子を見ると、個々の実践者は受け入れの力量を持っていらっしゃると思っていて、まだまだ皆さん方も受け入れの拡大を目指していきたいと思っ

ケートにもしっかりと表れています。しかし実体的には年間を通じて、浜田市ツーリズム協議会の現在の受け入れ者数は、24年度の数字で恐縮ですが9800人くらいだったと思います。そのうち宿泊者が千数百名。浜田市観光協会さんともそれらの実態を踏まえ、色んな受け入れ基盤を一緒に考えていく必要があると話しています。民宿、施設受け入れ、宿泊は受け入れられないが何かの農業体験等なら受け入れられるという人もたくさんいます。新たな開拓をしながら新たな基盤づくりに取り組むのが大事だろうと思っています。今後の課題でもあるし、ぜひとも一緒に浜田市にお迎えする交流人口拡大のために観光協会さんとともに頑張っていきたいと思っています。

牛尾昭副委員長

鳥本さんが辞められた後にその辺の業務を観光協会がちゃんと引き継いでいるという認識ではないのでしょうか。

小川会長

当初はそのような、良い方向に行くのかと期待していたのですが、どうも人事関係の方向性が私どもの想定とは違ってきました。私どもが口出しする限界かなということで今に至っています。

牛尾昭副委員長

そうすると会長さんからしてみれば、従前のように鳥本さんのような責任者が1人ぐらいいらっしゃって、窓口業務をされてというような形が現状で言えば望ましい、とお考えになっていると理解してよろしいか。

小川会長

まさに牛尾昭委員が言われるように、それが私どもの一番大きな希望であり今回の陳情の骨子です。結局不安定な雇用の段階でそれが途切れてしまいました。邑南町との連携を浜田市も取られていますが、そういう広域的な面も含めて、行政としての役割は非常に大きいと思います。ただツーリングメンバーのみの問題だけではなく、これが私どもが目指す方向になれば非常に大きな交流人口になり、定住に結び付くかは別としても地域の振興にも大きく影響します。全国最先端のツーリズム協議会の活動を見てもらえば分かると思いますが、可能性を秘めているのが組織なり窓口業務だと思っています。

牛尾昭副委員長

僕も観光協会理事なので、理事同士で質問してはいけないが、いまの話を経験すると、観光協会でもインストラクター養成等もやる中で、職員を専任の事務局長として今年から送り込んでいるが、向こうが言われるような役目を岸本事務局長が背負うのは負荷がかかりすぎるのか。

産業経済部長

市の経緯から述べさせていただきます。元々市内の方でツーリズムということで平成18年秋に全国大会が開かれており、その後リーマンショックを経て平成20年から、国を挙げて緊急雇用対策ということで、とにかく仕事を確保して人を雇ってくださいという制度がありました。この場合にうちは観光協会を軸にツーリズムを発展させようということで、ふるさと雇用として3年間限定で1人雇用して観光協会に委託した。国の制度を利用して3年間は雇用できる、4年目以降は自立できるような力を持っていただきたいという制度でした。それが3年で切れた時に1人雇用する力が協会にもありませんでした。その後、国の農水の補助で23、24年度には、子ども農山村漁村プロジェクト等を活用して運用してきました。25年度は国の援助が受けられないながらも続けていかねばならないということで、観光協会の中に含めて1人雇用していましたが、一般社団法人化した際に、その方をそのままの形で雇用する力が協会になかったた

め今に至っています。

協議会の会長の話も事務局長の話も市として充分理解しています。行政のツーリズムに対する考え方は、島根県隠岐、邑南町、浜田のツーリズム協議会が県内でも盛んに活動しており、国にも大きく取り上げられています。あと北広島町。そういったところですごく連携が取れるのも事実なので、現在、北広島町や邑南町とも連携して交流人口の推進を図るために協定も結ばせていただいています。ただ単に観光協会ですごくまでできるかということもありますが、市の観光交流課でもツーリズムで誘客をしていかねばならないというのは大きな課題だと思っています。行政も観光協会も交えてツーリズム協議会さんと今後の方針について話し合いをさせていただきたいと思います。

牛尾昭副委員長
小川会長
笹田委員

いまの部長の答弁のように行けば良いが。

お任せします。

ツーリズムは、今後に期待が持てる事業だと思います。牛尾昭委員からもありましたが、昨年まではコーディネーターがおられて頑張っておられたことも把握しています。今年度になっておられなくなり、今の話だとコーディネーターを支援してもらいたいということのようですが、他に何かしら行政に期待する具体的なことがあればお伺いしたいと思います。

河野事務局長

浜田市ツーリズム協議会として自立していく方向は会員一同で追い求めなくてははいけませんので、それまでの間の支援をぜひお願いしたいということです。

自立していく過程の中に、現状として先ほど個々の実践者の方の非常に強固な基盤があると。これがさらに交流人口拡大の可能性を大いに持っていることは会員一同自信を持っています。しかしまだ受け入れ基盤が小さ過ぎて、子ども受け入れプロジェクトや修学旅行となると数百名単位の受け入れが必要となるし、浜田市の制度としてスタートしている合宿制度等もあります。受け入れに際し、民泊希望あるいは修学旅行等になると必ず一泊は民泊が義務付けられている状況なので、数百名の民泊を受けるにはまだまだ基盤が足りません。ツーリズム協議会として、基盤の拡大もちろん、それぞれの方がおもてなし含めてスキルを高める努力をしていきたいと思っています。

平成26、27年、夢の音村が地域3地区に呼び掛け、独自に農林水産省の都市農村共生・対流総合対策交付金事業に手を挙げさせてもらいましたが、一番の目的が、様々な受け入れ基盤を確立することです。単に宿泊のみでなく、食事の提供やインストラクター養成や、そうした多岐にわたる基盤の底上げをこの2年でやりたいと考えています。

布施委員長

その他。

(「なし」という声あり)

ないようなので、この件については終了します。小川会長、河野事務局長にはご退席いただいて結構です。ご足労ありがとうございました。

2. 議案第67号

工事請負契約の締結について（（仮称）旭統合小学校校舎建設に伴う建築主体工事）

	議題2について、執行部から補足説明は。 （「ありません」という声あり）
笹田委員 建築住宅課長	委員から質疑はありますか。 9億円以上の契約金額の中で、入札経緯等が分かれば。 入札経緯ですが、特別共同企業体を組んでいただき、2組が手を挙げられたと報告を受けています。そのうちの1社である宮田建設・本川建設・佐々木組共同企業体が、現在仮契約の状態です。
笹田委員 建築住宅課長	入札前に地元企業の優先等の優遇処置があったのでしょうか。 当課では入札を直接担当していないので申し上げにくいのですが、聞いているところでは、地元業者からA、Bクラスの業者の中で共同企業体を組んでくださいと案内しているとのこと。
牛尾昭副委員長 建築住宅課長	2社の金額の乖離はどの程度だったのか。 予定価格の話でいくと、1社は予定以下で決定、もう1社は残念ながら予定を超えていたと報告を受けています。
牛尾昭副委員長 建築住宅課長 布施委員長	予定価格はいくらだったのか。 税込9億4739万7600円です。 その他。 （「なし」という声あり） ないようなので、この件については終了します。

3. 議案第70号 市道路線の廃止について（小国25号線）

4. 議案第71号 市道路線の認定について（浜田554号線外）

	議題3、4について、執行部から補足説明がありますか。 （「ありません」という声あり）
布施委員長 笹田委員	委員から質疑はありますか。 小国に現地視察へ行かせてもらいました。橋を廃止して新たに橋を除いた所を認定とのことですが、今後、橋が不要になった所はこういった事例になっていくのでしょうか。
金城支所長	今回の事例で説明すると、非常に橋が老朽化して維持管理に苦勞していました。管理者の市もそうですが地元でも非常に心配され、地元の総意で撤去の陳情が出ました。それを受けて、また地域外の方も来られるということで、この現場の特性として安全最優先で撤去になったもので、今後についてはその橋の必要性や状況によって個別に判断したいと思います。
布施委員長	他に。 （「なし」という声あり） ないようなので、この件については終了します。

5. 執行部報告事項

(1) 海上自衛隊の誘致に向けた要望活動について（安全安心推進課）

安全安心推進課長
布施委員長
牛尾昭副委員長

議題5(1)について、安全安心推進課長。

（以下、資料をもとに説明）

説明が終わりました。委員から質疑はありますか。牛尾昭副委員長。

総務委員会も傍聴しました。今回のことについて安全安心推進課長さんにわざわざお出かけいただき我々委員会の意見聴取をされたことについて改めてお礼を申し上げます。

これまでの経緯の中で言えば、2番の平成19年頃よりとありますが、この時は市長を団長として舞鶴総監を表敬して、その折には議会も行って、会議所の会頭、防衛協会のトップ等々で、総監を含めた制服組のトップと色んな懇談をしました。その折に、分遣隊の誘致は難しいという話がありました。本庁へ行ってくれと。寄港については艦長が出港すれば作戦だから浜田へ寄るかは艦長の意思だというコメントがありました。これは8月末の話だったがその年の9月にしらせの寄港があり、歓迎式典の折に艦長が話されたことに私は注視しています。艦長が話されたのは、しらせの母港である横須賀港でもこれほど晴れがましい歓迎は受けたことがないと、感激なさっていた。それからどのようなことが起きたかと言うと、その翌年しらせが最後の航海に出て正月、南極基地に浜田市の市旗が掲げられて、それが市報に載って皆さんのお手元に配られた。それ以降、定期的に入っている。

私が言いたいのは、朝鮮半島有事は全くない話ではないと。今回の広島土石流でもそうだが、一定の備え、心構えは必要なのだと思っています。また、1992年に張香山さんという中国の21世紀委員会の座長、彼が北九州で講演している文言の中に、日本と中国の将来の交流発展について、万が一中国共産党がうまくいかなかったら、幾千万の武装難民が日本を含むこれらの地域と国家になだれ込むだろうと。こういう動乱を防ぐため、日本と中国はうまくやらなければいけないのだと張香山氏は語っています。武装難民ということはあながち朝鮮半島の問題だけではないということも想定されます。最悪の事態もある。市民の方はこういったことをほとんどご存知ないので、そういったことがあるかもしれないという啓発をするなら、自衛隊の寄港地として、補給基地として、日常の交流は絶対必要と思っています。だからこの要望活動については是非やるべきだと思っています。

その他。西田委員。

先般、最後に寄港してもらったのが6月のまつゆき。議員も色んなお手伝いをさせてもらいました。お魚センター横駐車場に市民が車を停めてシャトルバスに乗られましたが、必ず来られた方に声をかけました。その時に県外ナンバーの方にできるだけ細かく聞きました。松江・出雲からの客も多かったし、岡山・関西方面からも、福井から来られた若い女性もおられました。その方は夜中に出発して昼に着いたとのことでした。色んな方々が、護衛艦が一隻入港するだけでたくさんの方がわざわざ来られるのだと実感しました。

布施委員長
西田委員

笹田委員	<p>この議会の中でも何度か舞鶴に訪問していますが、その時に、浜田港に補給基地が欲しいのだと言ったら、防衛予算は削減されているので舞鶴でそういったことはできないのだが、大事なものは世論として、特に日本海側に護衛艦なり自衛隊の船が頻繁に通ることが重要なのだと。地域の中でしっかり世論を盛り上げて欲しいと言われました。色んな意味で効果があると思います。護衛艦を見るだけで、普段からの安心安全、自衛隊との絆も深まるし、普段の生活における防衛意識、防災意識、そういうものが多少なりとも市民の中に培われるのでは。</p>
安全安心推進課長	<p>課長の説明にあったが、港湾取組み予定の中に、今の説明だと寄港を年2回にしてもらおうのだという要望活動があったが、それがメインの要望になるのでしょうか。</p>
笹田委員	<p>あくまでも経済効果を表に出していこうと思います。ただ国県の要望では10出して10叶うことはないので、商工会議所からの要望どおり補給基地ということはある程度出ささせていただきたいとは思っています。ただ色んな話の中で難しいという回答は得ていますが、要望としては強く。駐屯は考えていません。補給基地の要望がメインで、最低でも寄港回数を増やしてもらえればと思っています。</p>
安全安心推進課長	<p>分かりました。駐屯基地ではなく補給基地という形だと。経済効果ということを言われました。確かに効果はあると思います。自衛隊の方が夜に浜田に出て美味しい魚やお酒を飲むこともあると思います。ただ、6月に喧嘩等々があったと聞いているので、そうなると浜田市民からすると自衛隊のイメージも悪くなります。大手を振ってきていただくためにも、浜田市民にも受け入れ体制を取っていただきたい。東日本大震災の自衛隊の活動、防衛という意味ではなく、災害時の素晴らしい力を見えています。そういう時に力になってもらったら強力な支援になります。</p>
布施委員長	<p>市内に出られることも把握していますし、情報も入っています。経済効果をうたう以上、私どもから観光等の情報を流して、事前の受け入れ態勢を整える務めがあります。先般も呉音楽隊がこちらに泊って20名以上の方が市内におられますが、その際に朝にお土産屋に行ったら開いていなかったという話を聞きました。場所や時間等の事前の情報提供、受け入れ態勢をしっかりと情報共有して対応する必要があると思っています。</p> <p>他に。 (「なし」という声あり)</p> <p>3名から意見が出ました。しっかり吸い上げていただいて要望活動に活かしてもらいたいと思います。</p>

**(2) 瀬戸ヶ島埋立地活用基本方針（素案）作成業務の委託予定事業者決定について
（地域プロジェクト推進室長）**

<p>地域プロ推進室長 布施委員長 牛尾博美委員</p>	<p>(2)について、地域プロジェクト推進室長。 (以下、資料をもとに説明)</p> <p>説明が終わりました。委員から質疑はありますか。牛尾博美委員。 今まで空白であり、市民も心配や期待していた土地。これまでも埋立後に市が突然2千坪の土地を買わなければならなくなったりしたので、</p>
--	--

この計画がどう上手く形になるのかと思いながら今の説明を聞きました。

市が取得する際、ゾーニングの左側の湾に面した部分というのは県有地の約2千坪だったと記憶しています。全体のプランニングをするにあたって恐らくやっているとは思いますが、買うのか借りるのか、使用して良いのか、そういう話は県とされているのでしょうか。

地域プロ推進室長

研究会の中には水産事務所の方にも入ってもらっていて、水産事務所とは情報共有しています。県庁の中にもこれを所管する部署があり、そこも情報共有しています。絵図が描けた時点で水産庁の承認は県から取ってもらうことになっており、細かく連携を取っています。

牛尾博美委員

安心しました。ただし、「～だろう」ではなく、きちんと。プランニングして実現・具現化していく中できっちり押さえておかないといけないことだろうから、県としっかり、約束事なり契約ごとなりしなければいけないならきちんとしないと。折角描いたプランが宙に浮かないようにやってもらいたい。

布施委員長

他に。笹田委員。

笹田委員

非常に期待している反面不安もすごくあります。予算が出た時に、1千599万1千円という予算が上がってきて、委託料がほとんどそちらに行くのではないかと。残り700万円程度あるがそれは今後こういった形でこの事業に対して執行していくのでしょうか。

地域プロ推進室長

元々当初予算も、方針を描くために必要経費がこのくらいかかるのではと想定していました。実際に細かな仕様等を固めて複数社からの参考見積もりを取ったら、850万円程度あれば期待する方針を纏めてもらえそうだと分かったので、その金額を示してプレゼンした経緯があります。残が出たものは、金額が契約で確定したので、次の議会等で不要な部分を削減することもあるかと思えます。

笹田委員

今までの研究会の状況等も聞きました。当初で4回程度と聞いていましたが、実際2月までに何度やるおつもりなのか。

地域プロ推進室長

元々年間5回程度を予定していました。もう少し委員さんの意見も聞きたいので、今度の研究会で同意いただければ回数を増やすつもりです。

笹田委員

契約が9月5日になったとのことで、契約期間が2月27日までとのことですが、最初の説明だと今年中、平成26年12月26日までとして予算が上がっていました。この2ヶ月の乖離について説明を求めます。

地域プロ推進室長

方針については今度の議会でも報告しようと思っていました。1月ぐらいにはきちんと作ったものをお示ししたいと思えます。ただ、当初研究会等を重ねた時に、コンサルの決定が後ろにずれ込んだため、コンサルにも十分な時間がないと、先進市の調査や民間動向調査等の期間が必要だと思うので、パブリックコメント等も色々考えてスケジューリングした折に、1月末あるいは2月始めというギリギリのタイミングまで伸ばして、その間にきちんとしたものを整理して欲しいということで、2月27日までとさせていただきます。

笹田委員

業者が短い時間では難しいということで2ヶ月先送りしたと認識しました。パブリックコメントを募集するみたいですが、前回何かしらの事業でパブリックコメントを募集したが0件だった例もあります。もし行なうならどのような形で行うのでしょうか。注目されている事業でもある

ので情報収集してもらいたいと思うんですが。

地域プロ推進室長 瀬戸ヶ島関連の色々なアイデアを作っていることは多くの市民にも知ってもらいたいと思います。新聞報道等にも取り上げてもらっており、身近な情報を知る機関としてはかなり期待されます。市民からの意見公募もできるだけ多く、マスコミにも協力してもらって多くの方の目に触れるようにPRして意見の集約に努めていきたいと思っています。

笹田委員 平成24年3月に、センク21さんの瀬戸ヶ島の利用計画が出ている中でまたこうやってお金をかけてやるのだから、ゾーニングの図が出て、これから叩くからこれが決定ではないとのことだが、これを誰がやっているのか、どういったお金をどこから出すのかとか、しっかりその辺を出していただき、絵に描いた餅になると前と同じなのでしっかり市にも考えてもらって、これでやっていく、この人がやっていく、お金はここから出るとお示ししないと。無駄なお金を使わないようにきっちりやっていただきたいと思うが。

地域プロ推進室長 今回の方針素案作成については官民の住み分けをきちんとすることと、併せて事業費がどのくらいかかるか積算もしますので、そういうことも公開しながら意見を求めているように思います。

布施委員長 他に。牛尾昭副委員長。

牛尾昭副委員長 まず山陰経済研究所とエブリプラン共同事業体の実績を教えてくださいませんか。どこでどういうプランニングで成功をおさめているか、事例をお示し願います。

地域プロ推進室長 山陰経済研究所は地銀系のシンクタンクということで、各種計画策定、地域振興の方策、経済の波及効果の分析・検討等の業歴を非常にお持ちです。また地域の産業動向にも精通しておられます。

瀬戸ヶ島の類似事例はなかなかありませんが、例えば出雲にご縁ひろばという道の駅がありますが、物販や飲食施設整備にかかる調査業務を請け負っておられますし、斐川のイリスの丘の再生方針にかかる調査事業にも関わっておられます。

株式会社エブリプランは島根旭社会復帰促進センターがPFIで設置された折の誘致活動等の支援業務等について請け負っておられます。地域密着コンサルティングのノウハウを持っておられます。このような実績をお持ちです。

牛尾昭副委員長 このプランそのものを新しくできた部でおやりになるのが元々無理だったのかなという印象を持ちます。この絵を見た瞬間に、この20年で破綻した事業が載っています。遊覧船、観光船は既に破綻した事業。温泉も平成8年の観光振興ビジョンの中で温泉リゾートというのをやりましたが1億5千万円捨てて失敗しています。過去に公費を捨てて失敗した事業がスタートラインに乗っています。そういう事業は外して絵を描いていかないと、何だこれはということになります。入り口論からしてできてない。地域政策部がやるのは荷が重いのかなという印象を持ちます。

その上で言うなら、あそこは国策で栽培漁業センターを作るというゾーニングです。この絵でいう賑わいゾーンが、お魚センターを中心としたゾーニングで、国が撤退して県も逃げた。そんな中で瀬戸ヶ島が立ちゆかないのは当然です。ただ、全体を見ていく中で、例えば合併して温

泉もある。金城の温泉も集客が落ちている。そういう状況でここに日帰り温泉をまた新たに作るなど笑ってしまいます。失敗した例をこの中に突っ込んでどうするのだと。中には優れた事案もありますが。こんないい加減な絵を書かないで、税金を捨てた苦い思い出があるのだから、それらは排除しながら、今後、可能性があるものを組み込んでいかないと、こんな計画は駄目だと思いますが、どうでしょう。

地域プロ推進室長

遊覧船等諸々ご意見を頂戴した件については、研究会の中ではそういう案も出ています。従って研究会のアイデアとしてまとめたものではありませんが、今回コンサルから出たものにはそれは挙がっていません。

なお、過去の失敗事例についてどうなのかということですが、日帰り温泉については、他市では集客が充分ある好例もあるので、今回詳しく精査してもらいます。提案内容も掘り下げていこうと思います。その結果として、できるできないは皆さんからの意見も頂戴しながら判断したいと考えています。

牛尾昭副委員長

この絵が出ると、これが動いて行く。だから研究会のメンバーに、過去に遊覧船は失敗した、この地区で遊覧船の実現は難しいと示して。我々は失敗経験があるのだから、失敗例は最初から排除して議論を進めない、議論する方も気の毒です。

もともとこのゾーニングはお魚センターを中心とした賑わいゾーンと、マリン大橋を渡った栽培漁業ゾーン。だからここにそういったものをゾーニングとして作るということは、お魚センターも完璧に潰すという意味になります。その覚悟が浜田市にはできているのですか。一方で今年度の予算で言えばお魚センターどうにかしようという予算が出ている。そういうことを踏まえても瀬戸ヶ島のこのプランニングと整合性が取れないように僕には見えるのですが、どうなのでしょう。

地域プロ推進室長

お魚センターとの連携については、これからコンサルも交えて詳細に整理する必要があります。お魚センターの再生について行政も関わっていこうという話ですが、瀬戸ヶ島の埋立地実際に動き出すのは2、3年先で、その間にお魚センターの活性化に努めて、その場所で継続して賑わいを創出すべきなのか、あるいは瀬戸ヶ島をやる時に共存していけるものなのか、場合によっては集中して新しい拠点を作るべきなのか、その辺も研究したいと思います。

牛尾昭副委員長

お魚センター閉鎖もやむを得ないという見解を一部市の中でお持ちなのだという思いが垣間見えました。それはそれで良いとして、考えて欲しいのは、例えば温泉は旭にも金城にも浜田にも温泉があり指定管理者に出している。キャパが決まっていて、7、8月を見ても外来客が落ちている。そんな中で新たな集客施設をこのエリア一帯の中に作るのは自殺行為ではないかと。この地域の中でどの業者が生き残れるという位置づけをしながら、では何ならいけるのかを考えて研究会メンバーに話を振っていかないと、フリーターキングは時間そのものが無駄になります。

この件は誰がやっても難しい仕事です。そういう時は原点に戻る。ここを栽培漁業センターにしようと思っていたのだから、国が逃げた事業をもう1回国に何とかしてくれということは本当に出来ないのか。国がノータッチだから諦めて何もしないのではなく、そういう作業を一方で

同時におやりになるべきではないか。その辺のスタンスはどうなのでしょうか。

地域プロ推進室長

お魚センターについて誤解があってはいけないので最初に申し上げますが、これからどうあるべきかは研究します。決してそれがなくなれば良いと思っているわけではありません。研究会等でも今まで自由に意見をいただいたということで、過去の失敗事例あるいは同様の施設に近いものがあるとすれば、全国の失敗事例等を共有し、今までは夢ばかり描いていたものが現実的にどうかというところが判断できるような色々な情報は提供させていただきたいと思います。

それから、栽培漁場という元々の目的で使うのはもちろん一番良いと思います。ただ現状として、約5万ヘクタールのこの敷地全部を使った栽培漁場が現実的かどうかを考えると、その計画があれば当然優先しますが、今ない計画なのであれば、暫定的、期間限定であっても地域振興や観光振興のために、ここに拠点整備をさせていただき、栽培漁場としての本来の新しい事業計画が出てきた時には、そこに当然整理してまた改めて入っていただける余地を残したような提案ができるのではないかと考えているので、今、新しく初めてもらう一方で、その計画が無いまでの間はこちらに書いてあるようなアイデアを元に、エリア的には規制がかかっていない所は常設も考えられますが、暫定でやらねばならない所も含めて絵を描いていこうという気持ちです。

牛尾昭副委員長

暫定でも賑わいを出そう、というプランを見ると、新浜田市で考えると、ここに賑わいゾーンを作ると、キャパが決まっている新浜田市の中では、それによって落ち込む施設が出るのは間違いありません。そういう間違いなく分かるような施設を本当に作らねばいけないのでしょうか。瀬戸ヶ島については状況が良くなるまで置こうというのはすごく高度な判断だと思います。何もないから手をつけねばいけないということはありません。例えばあそこで藻塩を作っても良いと思うし、ブルーツーリズムで体験型エリアを作っても良いし。既存施設を潰してまであそこに無駄な投資をする必要はありません。浜田市に本当に不足している物をここに作るようなコンセプトでないと、ここに新設したらあそこがへこんだというような綱引き状態で良いのかという議論を是非していただきたい。部だけでなく市役所全体で。そうしないと、立ち上げからしてこの計画は上手くいかないのではないのでしょうか。

地域プロ推進室長

議員さんからのご意見として承りました。特に温泉について強い気持ちをお持ちだと。ひとつ考え方として、同等の施設を作ることで競争になって潰れるという考え方もちろんあります。しかし現在アクアスに40万人近い方がおいでになり、浜田に立ち寄らずに帰ったり他所に回っておられるという中で、他にもう1つ拠点があれば滞在時間が長引くのではないかと。そこで経済効果に波及していくのではないかとという基本的な考え方を持っています。従ってここに温泉施設を仮に作ったことが功を奏して、お客様がアクアスから流れてくれば、今までなかった食事・宿泊の効果が生まれる可能性があります。更にそこから効果が波及していくこともあるかと思っています。先ほどの牛尾昭委員のご意見について議論はしていきたいと思っています。

牛尾昭副委員長

お客様は、アクアスの次は例えば出雲大社だとか、もっと大きい所を目指して行かれます。だから、もう一つ拠点を作りたいという市長の気持ちは分かるんですが、それはお客様のニーズではないですよ。よく考えないと。アクアスに行ったら次は出雲大社、もしくは萩。浜田市の中に二つ拠点があつたとしても、余程すごいものを作らないとそこへお客さんは行きません。例えばUSJとか、それくらいの規模の。気持ちは分かるんですが、机上の理論ではなくて、観光客の方がどういう視点でアクアスの次にどんな所へ寄っているかを、もう少し調査された方が良いと思います。

西田委員

牛尾昭副委員長とほとんど同じ気持ちです。これまでの色んな例を見ると、これが将来どうなるかというのは自ずから予想が付きまします。余程のハードといっても、ここにどれだけお金をかけても、まずアクアスからここにどれだけの人に来てほしいか、限界があります。それは仕方ないことだと思います。このスペースを何とか活かそうと考えておられるのはよく分かるんですが、予算を付けてハードな施設にお金をかければかけるだけ後が苦しくなります。浜田市にある既存の、温泉施設にしても様々あります。大きくメジャーな物はありませんが、あちこちに小さいものがたくさんあります。だからそれらをいかに活かすかの方が、浜田市のまちづくりとして本当に求められていることではないでしょうか。大勢の人にドーンと来てもらっても、一瞬の賑わいゾーンはここにできると思いますが、継続的に見た場合、そういう一瞬の賑わいでは駄目で、石見や浜田市の良い所は、小さく点在している良い物へ、少人数が何度も何度も継続的に来てもらえるよう繋げていく、そういうまちづくりの方がもっと浜田市に相応しいと思います。

ここに、フィッシャーマンズワープや唐戸市場とか近江市場とか色々例が挙がっていますが、そういった所というのは既にベースがある上で成り立っているの、そういう場所には少々の物を作っても人は来ます。わざわざアクアスからここ来てもらうことを考えると、いくらお金をかけても先は…。しっかりその辺を頭に置いてもらって、少人数が何度でも来ていただけるような中身の方が相応しいと思います。中身については妥当な物もあると思いますが、ハードに関してはなかなか納得いかないところがあります。

布施委員長

他に。

(「なし」という声あり)

室長におかれては、市民が注視する大変な事業である。今日出た委員の意見をしっかり検討委員会に伝えていただき、良いプランニングが出来るようお願いしてこの項目は終わります。

暫時休憩します。11時40分まで。

[11時 34分 休憩]

[11時 40分 再開]

(3) 「浜田を元気にする創業塾」の開催について（産業政策課）

(4) ゆうひパーク浜田㈱の状況について（産業政策課）

産業政策課長 布施委員長	(3)と(4)について、産業政策課長。 (以下、資料をもとに説明) 説明が終わりました。(3)について委員から質疑はありますか。笹田委員。
笹田委員 産業政策課長 布施委員長	参加料はおいくらか。 女性セミナーと同様、負担金2千円をいただきます。 他に。なければ(4)についてご質問は。 (「なし」という声あり) ないようなので、この件については終了します。

(5) 漁業別水揚について（水産振興課）

(6) BB大鍋フェスティバル2014について（水産振興課）

水産振興課長 布施委員長	(5)について、水産振興課長。 (以下、資料をもとに説明) 説明が終わりました。(5)について委員から質疑はありますか。 (「なし」という声あり)
布施委員長 牛尾昭副委員長	(6)について質問は。牛尾昭副委員長。 このチラシの中にある、自衛隊・海上保安部はどういう役目をされるのですか。
水産振興課長	自衛隊・海上保安部は、機材等の展示をされると聞いています。毎年やっておられます。
牛尾昭副委員長	その他で聞いた方がいいかとも思うのですが。お魚まつりについて、当初予算で何十万円か上がっていましたが、お魚まつりをやるのがこのチラシでは伝わって来ません。どうするのか心配しているんですが。
水産振興課長	浜田お魚まつりは漁商共同組合も市も、やるということで予算要求をしました。ただ中身について詰めるのが時間的に遅れたため、このチラシにはお魚まつりについては記載していません。実際には、BB大鍋フェスティバルの2日前に新聞折り込みをしますが、それにはお魚まつりについても掲載する予定でいます。
布施委員長	他に。 (「なし」という声あり) ないようなので、この件については終了します。

(7) 第22回全国障がい者馬術大会について（金城支所産業課長）

金城支所産業課長 布施委員長	(7)について、金城支所産業課長。 (以下、資料をもとに説明) 説明が終わりました。委員から質疑はありますか。 (「なし」という声あり)
-------------------	---

ないようなので、この件については終了します。

(8) 平成25年8月豪雨災害復旧事業の進捗状況について（災害復興室）

災害復興室長 布施委員長 牛尾昭副委員長 災害復興室長	(8)について、災害復興室長。 (以下、資料をもとに説明) 説明が終わりました。委員から質疑はありますか。牛尾昭副委員長。 発注100%になるのはいつ頃の見込みでしょうか。 市の予算的には確保していますが、国の補助金の関係で27年度に割り振っているものもあり、年度内に全部発注にはならないと思っています。発注はしたいのですが、財政課と協議しながら進めたいと思います。
布施委員長 笹田委員	その他。笹田委員。 発注率が大幅上がったということですが、いつまた集中豪雨等起こるか分かりません。宅地自然災害防止事業というのが、宅地に住まわれている方の周辺施設だと思うんですが、やはり人が住んでいる所から優先していくのだという形で発注率が上がっているという認識で良いのでしょうか。
災害復興室長	昨年度末と年度当初に、まず宅地自然災害と林地崩壊防止事業を真っ先に優先して発注した結果がこうなっていると思います。
布施委員長	その他に。 (「なし」という声あり) ないようなので、この件については終了します。

(9) その他

① 「公会計改革フォーラム in 浜田」の開催について（都市建設部）

都市建設部次長 布施委員長 広島市場開拓室長	(9)について、都市建設部次長。 (以下、資料をもとに説明) 続いて何か報告事項は。広島市場開拓室長。 アドバイザーの選任をさせていただいたので報告します。営業活動をスムーズに進めたいということで検討を図り、大平繁巳氏をアドバイザーに選任しました。
布施委員長 農林振興課長	(以下、資料をもとに説明) その他、執行部から報告事項は。農林振興課長。 イノシシの被害について口頭で報告します。イノシシ被害ですが、今まで田や山で括り罠にかかるイノシシはいましたが、今回は民地の隣家の庭に侵入する事例が発生しました。場所は内村町松羽、美川水源地の裏、坂を上って200mほど先です。出没日時についてははっきりしませんが、午後6時頃ではないかと。6時半頃に警察から農林振興課へ連絡がありました。それを受けて捕獲班に現地対応を要請し、7時15分に庭にいたイノシシを殺処分しました。このイノシシは成獣で、体重は約80kgくらい。相当大きいイノシシです。罠は2週間くらい前に捕獲員がしかけて、そろそろ撤去しようかという時にかかったものです。ここまでは

よくある事例ですが、今回は体重が80kgくらいあり、括り罫を結んでいた木、直径10cm程度、長さ1m50cmくらいの木を折ってそれを付けたまま庭に侵入しました。今までケガをされた方はここ何年も居ませんでした。隣の人がイノシシを木で叩こうとして手をケガをされました。病院へ行いかれましたが軽傷だとのこと。これはイノシシに襲われて怪我をしたのではなく、イノシシを叩こうとして負った怪我であるとのこと。それと、罫をしかけたお宅の方がとどめをさすためにバット等で頭を叩こうとした時に牙が足にささり血が出たらしいんですが、30分もすれば血が止まったとのこと。それと隣の家の犬が耳を噛まれ血を流し、手も折れていたとのこと。

今回の事例は民家のすぐ傍で、罫を仕掛けた所も民家から10m20mのあたりで、家が4、5軒あるところ。美川のそういうところに大きなイノシシが出没する状況になっています。

布施委員長
笹田委員

以上3点の報告事項について質問は。笹田委員。

広島市場開拓室のアドバイザーが決まり喜んでいますが、3月31日までとのことだが、この大平様1名でやっていくのか、またこの方の報酬についてお願いします。

広島市場開拓室長

今年度については1名でやっていきたいと考えています。報酬についてですが、当初は報酬という形で考えていましたが、報償費という形に変えて、月額5万円です。移動費等全て諸々含んでこの金額でやっていただくということで折り合いがついています。当初大平様からはお金は要らないと言われたんですが、一応内部協議を踏まえてこういう形にさせていただきました。

笹田委員

私が言って良いのか分からないんですが、安価ですごい方を味方につけたというか、すごくありがたい気持ちもあります。このご時世で色々な移動がある中で、移動も込みとなるとアドバイザーの方の負担もかなり大きいのではないですか。やってみて何かあれば、今後浜田市のために働いていただく方なので配慮していただければと思いますが。

広島市場開拓室長

この件については島根県もリッチアドバイザーという形で指名されていますが、島根県については報酬等は一切ありません。年間5千円程度のお土産をあげてという形になっており、県はそういう方を3名ほど抱えておられます。私どもも最初に相談した際に、全く要らないと言われたんですが、市の方でそのような検討をされたのならそれでいかせてくださいと。今後については笹田委員の言われたことを念頭に置いて、また考えていきたいと思えます。

牛尾昭副委員長

誘致企業であるとかそういうものが成約の折には、やはりインセンティブは必要だと思います。だからそれは、今の内から、企業誘致等が決まれば1件いくら、高い金額は言わなくても良いと思いますが、そういう目安というのは失礼のない程度で必要なのではと思うので、ぜひ検討してもらいたいと思えます。

布施委員長

他に。

(「なし」という声あり)

ないようなので、この件については終了します。

6. 所管事務調査

(1) 萩・石見空港利用促進の支援策について（産業政策課）

産業政策課長 布施委員長 笹田委員	<p>議題6所管事務調査に移ります。定例会初日の委員会でお願いしていた資料等が用意されているので、執行部から説明をお願いします。</p> <p>(1)について、産業政策課長。</p> <p>(以下、資料をもとに説明)</p> <p>説明が終わりました。委員から質疑はありますか。笹田委員。</p> <p>浜田市の独自支援については予算に関わるので言いませんが、目標である12万人という数字は相当厳しいと認識しています。浜田市がこれだけするのであれば、他市町もスクラムを組んでやっていくのではないかといいこととお聞きしたんですが、浜田市は本気で取り組んでいくのだなと思います。しかし、これではなかなか12万人には届かないのではないかといい気がしています。来年の大河ドラマの舞台は萩になります。出雲の大遷宮のチャンスを逃したので、今度のチャンスは他市と協力して活かしてもらいたいと思います。他市町村にはどういった問いかけをしているのでしょうか。</p>
産業政策課長	<p>12万人達成のためには今のままだと2万6千900席が不足すると見込まれています。観光PRだとか観光資源の魅力化等で誘客に繋がるよう努力しています。来年4月の大河ドラマについても、その効果に期待したいと思います。今は萩の観光課とも連携してPRを積極的にやっていると申し合わせています。</p>
布施委員長 串崎委員	<p>他に。串崎委員。</p> <p>満65歳以上の方は上限1万円とありますが、年配者はたくさんお金を持っていらっしゃる。となると子育て支援ではないが、子ども3人以上の方に目を向けた粋な計らいの方が良いのではないのでしょうか。</p>
産業政策課長	<p>今回は空港往復利用者の方には一律5千円、それと65歳以上、それからサポート企業の従業員さんの場合5千円の補助としていますが、おっしゃるとおり家族連れの方への旅行にも積極的に利用して貰うことも考えています。市独自補助の中にはありませんが、協議会の補助の中には3人以上利用の場合6千円といった補助もありますので、協議会の補助とも合わせて旅行等を計画してもらえたらと考えている。</p>
牛尾昭副委員長 産業政策課長	<p>関連市町の行政出張はどうなっているのか。</p> <p>東京方面出張の場合は、余程のことがない限りは萩・石見空港利用してもらっています。</p>
布施委員長	<p>その他。</p> <p>(「なし」という声あり)</p> <p>ないようですが、所管事務調査で他にありますか。それではこの件については終了します。</p>

7. その他

その他について。執行部から何かありますか。

(「なし」という声あり)

委員から。
(「なし」という声あり)
事務局から。
(「なし」という声あり)
ないようなのでその他についてを終了します。執行部の方はここで退席されて結構です。ご苦労様でした。なお、委員は、採決がありますので、しばらくお待ちください。

《 執行部退席 》

○採 決

・ 陳情審査 (浜田市ツーリズム協議会に対する理解と体制支援に関する陳情)

布施委員長	これより順次採決を行います。議題1の陳情です。最初に皆さんの意見を伺っておきたいと思います。
牛尾博美委員	採択。しかし思うに、3月に鳥本さんが辞める手前で、ツーリズムを別にするとか、観光協会の中に取り込んで浜田独自に人を雇うとか、経済部がきちんとした基本方針を出すべきだったんだろうと思う。機を得た陳情だと思う。
笹田委員	採択。
串崎委員	採択。
西田委員	採択。
飛野委員	前向き継続審査。
牛尾昭副委員長	採択。
布施委員長	皆さんの意見を伺ったので採決したいと思います。本陳情を採択することに賛成の方の挙手を求めます。 (挙手多数) 賛成多数で採択することに決しました。

・ 議案第67号

工事請負契約の締結について ((仮称) 旭統合小学校校舎建設に伴う建築主体工事)

布施委員長	続いて議題2、議案第67号について、原案のとおり可決すべきものと決することに、ご異議ありませんか。 (「なし」という声あり) 本議案については、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決しました。
-------	--

・ 議案第70号 市道路線の廃止について (小国25号線)

布施委員長	続いて議題3、議案第70号について、原案のとおり可決すべきものと決することに、ご異議ありませんか。
-------	---

(「なし」という声あり)

本議案については、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決しました。

・議案第71号 市道路線の認定について（浜田554号線外）

布施委員長

続いて議第4、議案第71号について、原案のとおり可決すべきものと決することに、ご異議ありませんか。

(「なし」という声あり)

本議案については、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決しました。

以上で、産業建設委員会に付託を受けた陳情及び議案の審査は全て終了しました。これで、産業建設委員会を終了いたします。皆様ご苦労さまでした。

[12 時 32 分 閉議]

浜田市議会委員会条例第65条第1項の規定により委員会記録を作成する。

産業建設委員会委員長 布施 賢 司 ㊟